資料3(追加)

### 議題3

# 平成 28 年度地域密着型サービス事業所 整備事業者の選定

### (追加資料)

- 1. 地域密着型サービス整備部会報告書
- 2. 応募事業者点数表
- 3. 応募事業者プレゼンテーション資料



加賀市健康福祉審議会高齢者分科会 会長 河 村 勲 様

加賀市健康福祉審議会高齢者分科会 地域密着型サービス整備部会 会長 小林千恵子

#### 報告書

当部会は、平成28年度加賀市地域密着型サービス事業所整備事業者募集要項の趣旨に基づき、「小規模多機能型居宅介護(山代・動橋圏域)」を整備する事業者として、応募のあった事業者の事業計画について、地域密着型サービス整備に対する考え方及び理解度を調査・審議いたしました。

山代圏域、動橋圏域とも1事業者のみの応募でありましたが、両圏域の応募 事業者について整備事業者として支障がないものと認めます。

また、整備計画では、2事業所とも新規採用職員による運営となっております。新規採用職員は、小規模多機能型居宅介護事業所の実務未経験者が多数となることが想定されます。人材育成の研修を事業開始前から計画的に実施することが必要であることを申し添えます。

なお、整備事業者としての選定にあたり、両圏域の提案に対し、「より良いサービスの提供」や「介護サービスの質の向上」等を目的として別紙の通り助言を付することとします。

## 地域密着型サービス整備部会審議結果【山代圏域】

応募のあった1事業者の提案内容を審査した結果、整備事業者として支障がないと認めました。 また、採点の結果は以下の通りです。(100点満点)

点数 専門委員	採点結果
専門委員①	74点
専門委員②	78点
専門委員③	6 2 点
専門委員④	6 9 点

平均点	70.8点
基準点	60.0点

応募事業者の取り組みに対する助言は以下のとおりである。

- ●近隣の畑を利用して、地域住民との協働を前提とした農作物の栽培を行う取り組みについては、地域交流の促進や介護予防事業の先進的な取り組みとして優れている。要介護度の高い利用者でも参加できるように、各利用者の配慮を十分に行い、地域住民と継続して取り組まれることを期待する。
- ●従業員の立場に立ち、長期間の雇用を可能とする労働環境の構築に取り組むことについて は、高く評価できる。事業所の開設に伴い多くの新規職員を採用する際には、計画的かつ 実現可能な研修計画を策定することが求められる。外部の研修会に参加させるだけではな く、法人全体で講習会を開催してノウハウや情報を共有させるなど、新規職員に対する教 育を十分に行うことで介護サービスの質の向上に努めて頂きたい。

応募事業者の建物に対する助言は以下のとおりである。

- ●地域交流室の2室については想定される利用方法や利用頻度について考慮が求められる。 地域交流室を1室にして小規模多機能の利用者の空間を増やすことが可能か再検討してほ しい。
- ●地域交流室の一部を農作業用の土間として活用する場合は、冬季の活用法について地域の 特性に合わせて検討しておくこと。
- ●外壁や屋根などの色を地域の景観と調和が取れるように配慮が必要である。
- ●隣地に近接する敷地内の樹木については伐採を行わないように隣接住民と協議を行って頂きたい。
- ●2階は階段の横にトイレ室を配置しているが、トイレに行く利用者が誤って階段から転落 する危険性はないか。トイレ室の場所を再検討するか、階段降り口に転落防止柵を設けた 方が良いのではないか。

## 地域密着型サービス整備部会審議結果【動橋圏域】

応募のあった1事業者の提案内容を審査した結果、整備事業者として支障がないと認めました。 また、採点の結果は以下の通りです。(100点満点)

点数	採点結果
専門委員①	76点
専門委員②	80点
専門委員③	63点
専門委員④	70点

平均点	72.3点
基準点	60.0点

応募事業者の取り組みに対する助言は以下のとおりである。

●従業員の立場に立ち、長期間の雇用を可能とする労働環境の構築に取り組むことについては、高く評価できる。事業所の開設に伴い多くの新規職員を採用する際には、計画的かつ実現可能な研修計画を策定することが求められる。外部の研修会に参加させるだけではなく、法人全体で講習会を開催してノウハウや情報を共有させるなど、新規職員に対する教育を十分に行うことで介護サービスの質の向上に努めて頂きたい。

応募事業者の建物に対する助言は以下のとおりである。

- ●小規模多機能の利用者の部屋を日当たりのよい南側に配置し、地域交流室の2室を西側に 移動するなど配置については考慮をしてほしい。
- ●地域住民の方が出入りしやすいように、地域交流室を畳からフローリングにしたり、玄関とつなげたりはできないか。玄関の位置の変更が可能かも検討してほしい。
- 2 階の非常階段は 1 か所しかないが、非常階段に近い部屋から出火した場合、非常階段から遠い部屋の利用者は避難が困難にならないか。廊下両端に室内階段と非常階段を合計 2 か所設置することが可能か再検討を行って頂きたい。
- 2 階は宿泊室に近い位置に階段があるが、認知症の方が誤って転落する恐れはないか。階段の近くにスタッフルームを配置した方が良いのではないか。

#### 平成28年度地域密着型サービス事業所 応募事業者点数表

#### 山代圏域 事業者A

特筆すべき点

(配点:20 評価点の100点満点を20点満点に換算)

				車門	委員		date to one to	
		評価項目	評価点	1	2	3	4	特筆すべき点
Ι	. Į	<b>里念に基づく運営</b>				(配点	:5	評価点の70点満点を5点満点に換算)
	1	理念の共有と実践	5	3	4	3	3	
	2	事業所と地域とのつきあい	5	4	4	3	4	
	3	事業所の力を活かした地域貢献	5	4	4	3	4	
	4	運営推進会議を活かした取り組み	5	4	4	3	3	
	5	市との連携	5	4	4	3	4	
	6	身体拘束をしないケアの実践	5	3	4	3	3	
	7	虐待の防止の徹底	5	3	4	3	3	
	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	5	4	4	3	3	
	9	契約に関する説明と納得	5	3	4	3	3	
	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	5	4	4	3	3	
	11	運営に関する職員意見の反映	5	4	4	3	3	
	12	就業環境の整備	5	5	4	3	3	
	13	職員を育てる取り組み	5	4	4	3	3	
	14	同業者との交流を通じた向上	5	3	4	3	4	
I	. 3	と心と信頼に向けた関係づくりと支援		•	•	(配点	:8 1	評価点の40点満点を8点満点に換算)
	15	初期に築く本人との信頼関係	5	3	4	3	3	
	16	初期に築く家族等との信頼関係	5	3	4	3	3	
	17	初期対応の見極めと支援	5	3	4	3	3	
	18	本人と共に過ごし支えあう関係	5	3	4	3	4	
	19	本人を共に支えあう家族との関係	5	4	4	3	3	
	20	馴染みの人や場との関係継続の支援	5	4	4	3	4	
	21	利用者同士の関係の支援	5	3	4	3	3	
	22	関係を断ち切らない取組み	5	4	4	3	4	
Ш	. ব	その人らしい暮らしを続けるためのケ゛	アマネ	ジメン	<u>۱</u>	记点:1	7 割	価点の85点満点を17点満点に換算)
	23	思いや意向の把握	5	4	4	3	4	
	24	これまでの暮らしの把握	5	4	4	3	3	
	25	暮らしの現状の把握	5	3	4	3	3	
	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	5	4	4	3	3	
	27	個別の記録と実践への反映	5	3	4	3	3	
	28	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	5	5	4	3	3	
	29	地域資源との協働	5	4	4	3	4	
	30	かかりつけ医の受診支援	5	4	4	3	3	
	31	看護職との協働	5	3	4	3	3	
	32	入退院時の医療機関との協働	5	4	4	3	4	
	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	5	4	4	3	3	
	34	急変や事故発生時の備え	5	3	4	3	3	
	35	緊急時等の対応	5	4	4	3	3	
	36	バックアップ機関の充実	5	3	4	3	4	
	37	夜間及び深夜における勤務体制	5	5	4	3	3	
	38	災害対策①	5	4	4	3	4	
		災害対策②	5	4	4	3	4	

	57	共用空間における一人ひとりの居場所づくり	5	4	4	3	3	
	58	居心地よく過ごせる居室の配慮	5	3	4	3	3	
	59	身体機能を活かした安全な環境づくり	5	4	4	3	4	
		評価項目	評価点	1	2	3	4	特筆すべき点
٧	. <u>Z</u>	立地・構造・取り組み内容			(配)	点:30	評価	点の45点満点を30点満点に換算)
	60	町中に事業所が整備されているか	5	3	5	3	4	
	61	効果的な事業展開に必要な敷地面積が確保されているか	5	4	3	3	3	
	62	協力機関(医療・福祉)と緊急時等に連携が取れる立地か	5	4	5	3	4	
	63	地域との交流が図りやすい構造か	5	3	3	3	3	
	64	自宅らしい雰囲気を取り入れた外観や内部構造か	5	4	5	3	4	
	65	災害時の避難経路に十分な配慮がされているか	5	4	3	3	3	
	66	整備地域の特性やニーズの把握	5	4	5	3	4	
	67	介護予防拠点での取り組み内容	5	3	5	3	4	
	68	独自の取組み・アピールポイント	5	3	4	3	4	
V	[. j	<b>国営理念・事業の実現性</b>			(配	点:10	評価	5点の5点満点を10点満点に換算)
	69	提案内容に無理・矛盾がなく 実現可能であるか	5	1	1	3	1	

**車門委員** 

1 2 3 4

4 4 3 4

3 3

3 4

3 3

3 3

3 4

3 3

3 3

3 3

3 3

3 4

3 4

3 4

3 3

3 4

5 3 4 3 3

評価点

5 3 4 3 3

5

5

5

5

5

5

5

5

5 4 4

5

5 3 4

4 4

4 4

4 4

4 4

3 4

3 4

3 4

3 4

4 4

4 4

3 4

評価項目

Ⅳ、その人らしい墓らしを続けるための日々の支援

40 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保

41 利用者の希望の表出や自己決定の支援

42 日々のその人らしい暮らし

43 身だしなみやおしゃれの支援

44 食事を楽しむことのできる支援

45 栄養摂取や水分確保の支援

49 入浴を楽しむことができる支援

46 口腔内の清潔保持

47 排泄の自立支援

48 便秘の予防と対応

50 安眠や休息の支援

53 日常的な外出支援

55 電話や手紙の支援

52 役割、楽しみごとの支援

54 お金の所持や使うことの支援

56 居心地のよい共用空間づくり

51 服薬支援

評価項目	評価点	1	2	3	4			_	_	_	_	
Ⅷ. 既存事業所との距離	B I IM AN	U	<u>E</u>		点:5)	Ac	点	1	2	3	4	基準点
0点(~600m),1点(~700m),2点(~800m)	5	5	5	5	5	I	5	4	4	3	3	3
3点(~900m), 4点(~1000m), 5点(1000m以上)	5	3	0	3	3	Π	8	5	6	5	5	5
評価項目	評価点	1	2	3	4	Ш	17	13	14	10	11	10
Ⅷ. 全体を通し、特に評価すべき点				(配)	点:5)	IV	20	14	16	12	14	12
						V	30	21	25	18	22	18
	5	4		3		VI	10	8	8	6	8	6
	"	7		3		M	5	5	5	5	5	3
						VIII	5	4	0	3	0	3
						計	100	74	78	62	69	60

#### 【評価点の基準】

特に優れている:5点 優れている:4点 標準的:3点 多少の改善を要する:2点 改善を要する:1点

#### 平成28年度地域密着型サービス事業所 応募事業者点数表

#### 動橋圏域 事業者B

Г	評価項目 評価点			専門	委員		4+/**-1 0.4 1-	
			評価点	1	2		4	特筆すべき点
I	. 3	理念に基づく運営		Ĭ		$\overline{}$	$\sim$	評価点の70点満点を5点満点に換算)
	_	理念の共有と実践	5	3	4	3	3	
	2	事業所と地域とのつきあい	5	4	4	3	4	<u></u>
	3	事業所の力を活かした地域貢献	5	4	4	3	4	<u></u>
	4	運営推進会議を活かした取り組み	5	4	4	3	3	<u></u>
	5	市との連携	5	4	4	3	4	<u></u>
	6	身体拘束をしないケアの実践	5	3	4	3	3	<u></u>
		虐待の防止の徹底	5	3	4	3	3	<u></u>
	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	5	4	4	3	3	
	9	契約に関する説明と納得	5	3	4	3	3	
	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	5	4	4	3	3	<u></u>
	11	運営に関する職員意見の反映	5	4	4	3	3	<u></u>
	12	就業環境の整備	5	5	4	3	3	
	13	職員を育てる取り組み	5	4	4	3	3	
	14	同業者との交流を通じた向上	5	3	4	3	4	<u></u>
I	. 5	安心と信頼に向けた関係づくりと支援				(配点	į:8 <sup>1</sup>	評価点の40点満点を8点満点に換算)
	_	初期に築く本人との信頼関係	5	3	4	3	3	
	16	初期に築く家族等との信頼関係	5	3	4	3	3	<u></u>
	17	初期対応の見極めと支援	5	3	4	3	3	
	18	本人と共に過ごし支えあう関係	5	3	4	3	4	
	19	本人を共に支えあう家族との関係	5	4	4	3	3	
	20	馴染みの人や場との関係継続の支援	5	4	4	3	4	
	21	利用者同士の関係の支援	5	3	4	3	3	
		関係を断ち切らない取組み	5	4	4	3	4	<u></u>
I	. 7	その人らしい暮らしを続けるためのケ	アマネ	ジメン	<u> </u>	<b>记点:</b> 1	17 割	平価点の85点満点を17点満点に換算)
		思いや意向の把握	5	4	4	3	4	
	24	これまでの暮らしの把握	5	4	4	3	3	
	25	暮らしの現状の把握	5	3	4	3	3	
	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	5	4	4	3	3	
	27	個別の記録と実践への反映	5	3	4	3	3	
	28	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	5	5	4	3	3	
	29	地域資源との協働	5	4	4	3	4	
	30	かかりつけ医の受診支援	5	4	4	3	3	
	31	看護職との協働	5	3	4	3	3	
	32	入退院時の医療機関との協働	5	4	4	3	4	
	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	5	4	4	3	3	
	34	急変や事故発生時の備え	5	3	4	3	3	
	35	緊急時等の対応	5	4	4	3	3	
	36	バックアップ機関の充実	5	3	4	3	4	
		夜間及び深夜における勤務体制	5	5	4	3	3	
		災害対策①	5	4	4	3	4	
		災害対策②	5	4	4	3	4	

【評価点の基準】				
特に優れている:5点	優れている:4点	標準的:3点	多少の改善を要する:2点	改善を要する:1点

				東門	委員		
	評価項目	評価点	(1)	(2)	3	<b>(4</b> )	特筆すべき点
V.	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			(配点	:20	評価点	(の100点満点を20点満点に換算)
40	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	5	3	4	3	3	
41	利用者の希望の表出や自己決定の支援	5	3	4	3	3	
42	日々のその人らしい暮らし	5	4	4	3	4	
43	身だしなみやおしゃれの支援	5	4	4	3	3	
44	食事を楽しむことのできる支援	5	4	4	3	4	
45	栄養摂取や水分確保の支援	5	4	4	3	3	
46	口腔内の清潔保持	5	4	4	3	3	
47	排泄の自立支援	5	3	4	3	4	
48	便秘の予防と対応	5	3	4	3	3	
49	入浴を楽しむことができる支援	5	3	4	3	3	
50	安眠や休息の支援	5	3	4	3	3	
51	服薬支援	5	3	4	3	3	
52	役割、楽しみごとの支援	5	4	4	3	4	
53	日常的な外出支援	5	4	4	3	4	
54	お金の所持や使うことの支援	5	4	4	3	4	
55	電話や手紙の支援	5	3	4	3	3	
56	居心地のよい共用空間づくり	5	3	4	3	4	
57	共用空間における一人ひとりの居場所づくり	5	4	4	3	3	
58	居心地よく過ごせる居室の配慮	5	3	4	3	3	
59	身体機能を活かした安全な環境づくり	5	4	4	3	4	

Γ		評価項目	評価点	1	2	3	4	特筆すべき点
V. 立地・構造・取り組み内容					(配	点:30	評価	点の45点満点を30点満点に換算)
	60	町中に事業所が整備されているか	5	4	4	3	4	
	61	効果的な事業展開に必要な敷地面積が確保されているか	5	4	5	4	4	
	62	協力機関(医療・福祉)と緊急時等に連携が取れる立地か	5	4	5	3	4	
	63	地域との交流が図りやすい構造か	5	4	4	3	4	
	64	自宅らしい雰囲気を取り入れた外観や内部構造か	5	3	5	3	4	
	65	災害時の避難経路に十分な配慮がされているか	5	3	3	3	3	
	66	整備地域の特性やニーズの把握	5	4	5	3	4	
	67	介護予防拠点での取り組み内容	5	4	5	3	4	
	68	独自の取組み・アピールポイント	5	5	4	3	4	
V	I. j	<b>国営理念・事業の実現性</b>			(配	点:10	評価	<b>面点の5点満点を10点満点に換算)</b>
Ī	69	提案内容に無理・矛盾がなく、実現可能であるか	5	4	4	3	4	

評価項目	評価点	1	2	3	4	75.	14	①	2	3	4)	基準点
Ⅷ. 既存事業所との距離	既存事業所との距離 (配点			点:5)	配点		U	<b>&amp;</b>	9	4	本华州	
0点(~600m), 1点(~700m), 2点(~800m)	5	5	5	5	5	I	5	4	4	3	3	3
3点(~900m), 4点(~1000m), 5点(1000m以上)	J	3	3	5	כ	I	8	5	6	5	5	5
評価項目	評価点	1	2	3	4	Ш	17	13	14	10	11	10
<b>10. 全体を通し、特に評価すべき点</b>				(配)	点:5)	IV	20	14	16	12	14	12
	5	4		3		V	30	23	27	19	23	18
						VI	10	8	8	6	8	6
						VII	5	5	5	5	5	3
						VII	5	4	0	3	0	3
						計	100	76	80	63	70	60









### 【事業所Aの理念】

利用者一人ひとりの思いや願いを大切にしながら、住みなれた地域や家庭で喜びと生きがいを持って、安心して自分らしい生活が出来るように支援していきます。

### 【運営方針】

- 利用者の持つ力、「できる」喜びや楽しみを 大切にします。
- 一人ひとりの気持ちに寄り添い利用者のペー スに合わせます。
- 「暮らしやすい地域」について、ともに考え ます。
- これまでの暮らしや関係の継続を大切にし、 地域の中で開かれた事業所、地域の人が気軽 に交流できる場をつくります。









がない



山代圏域内人口 2番目

23.8%

(加賀市平均 30.2%)

高齢化率が低い





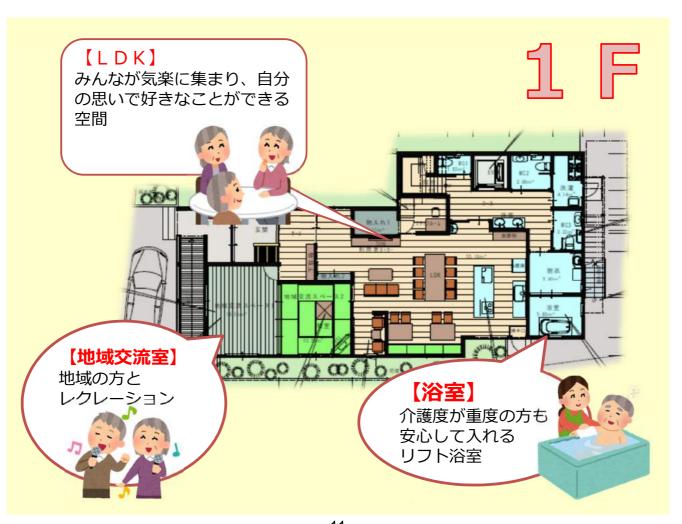


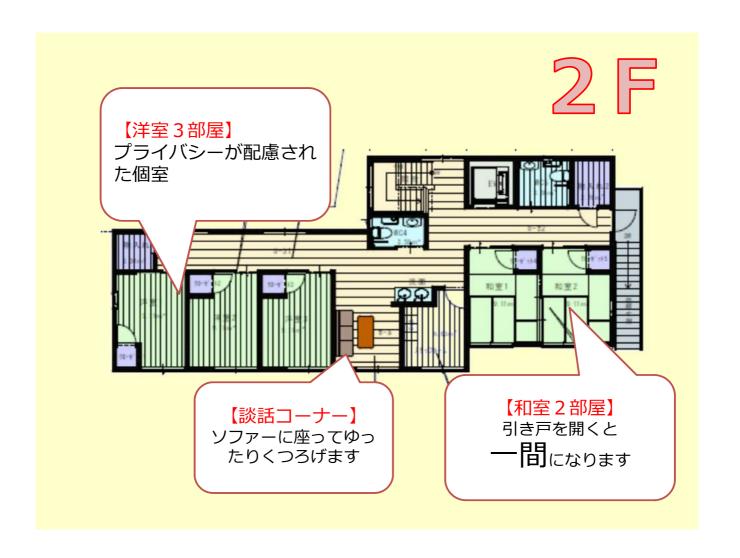




- 玄笠小学校跡地の傍、玄笠とよばれ馴染みの場所
- お寺、神社が近くにある
- 庄小学校の通学路に面しており、児童の安全に協力
- 庄地区会館、庄小学校、庄保育園は高齢者の徒歩圏内













介護予防 取り組み



健康が維持でき、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができます。

介護 ニーズ

ウチのばあちゃんが 場所が欲 認知症になったら 認知症になったら 認知症に

近くに相談できる 場所が欲しい

家にいたい

**介護**ってどう たらいいんやる 認知症は <mark>予防</mark>できるの?

施設は

なったら

どうしよう

近くに病院がなく て心配

できるだけ認知症になりたくない、 認知症になっても自宅で暮らしたい。 介護 実態

順 位	新規介護申請理由
1位	認知症
2位	運動器疾患
3位	脳血管障害

認知症高齢者率

庄地区 8.6%

加賀市 8.1%

認知症の人や家族への適切な支援が必要

介護 取り組み







安心して在宅生活を続けることが できます。 生活支援地域交流

多くの人と交流 したい

町内で見守り の体制を作り

家から、とが少ない

小学生や保育園 児と交流したい

社会の役に たちたい

近くに介護の施設がない。 相談するところがない

身近に相談できる場所がない。 子供から高齢者まで住みよい町に。

生活支援 地域交流 取り組み



身近な相談窓口



地域とのネットワーク



多世代との交流

子供から高齢者までの各世代が、安心して暮 らし続けることができます。





# 安心おふろ

事業所A

×

入浴

### 【目的】

- ・事業所Aの入浴設備を<mark>開</mark>放。
- 入浴に不安を感じる方が安心して入浴できるようにする。
- ・自分での入浴に自信をつける。

# 安心おふろ

事業所A

×

入浴

入浴支援

- ・ 動作を確認
- 方法の説明・提案

自宅での入浴

- 入浴方法・環境の確認
- ・環境の提案・調整

振り返り

- ・実施状況の確認
- ・本人・家族の不安の聞き取り

# 安心おふろ

事業所A

×

入浴





# 玄笠ネットワーク

事業所A

×

見守り体制

## 【目的】

- ・地域と協働し、地域での見守り体制の強化を図る。
- ・地域の問題にいち早く気づき対応ができるようになる。

# 玄笠ネットワーク

事業所A

×

見守り体制

情報共有

- ・要援護者・心配な方を共有
- ・座談会、運営推進会議の活用

訪問・見守り

- ・緊急時対応の職員を決める
- ・民生委員と協力し訪問を行う

連絡体制

- ・緊急連絡先の一つとなる
- ・ 緊急連絡網の整備

# 玄笠ネットワーク

事業所A

\*

見守り体制





# ロコモファーム

事業所A

地 域

\* リハビリ

### 【目的】

- ・農作業を通して活動と参加を促す。
- ・地域の方の役割や生きがいを作業を通して 見出す。
- ・楽しみながら身体機能の維持・向上を行 える。

## ロコモファーム

事業所A

\*

地域

×

リハビリ

知識の活用

- おいしい野菜の作り方。
- ・苗や肥料の購入

活動と参加

- ・地域の方と一緒に農作物をつくる
- ・観賞用の花をつくる

- ・地域の名物となるような漬物を作る
- 収穫後の喜び・ 収益金を地域に寄付し地域貢献
  - ご近所へおすそ分け

# ロコモファーム

事業所A

×

地 域

×

リハビリ

場所

- ・地域の方の土地をお借りする。
- ・近隣地で選定する。

地域の協力

- おいしい野菜の作り方を教える。
- ・地域の元気な方と利用者との協働作業。

活躍の場所の 提供 ・ 総合文化祭で野菜など販売できる場所を 提供する

## ロコモファーム

事業所A

×

地 域

×

リハビリ

評価

- ・理学療法士、作業療法士により評価。
- ・生活に必要なプログラムの作成。

活動

・ 利用者の状態に応じた作業方法の選定

環境

- ・利用者の負担を配慮する。
- ・車いすでも作業が行えるよう調整する。

## ロコモファーム

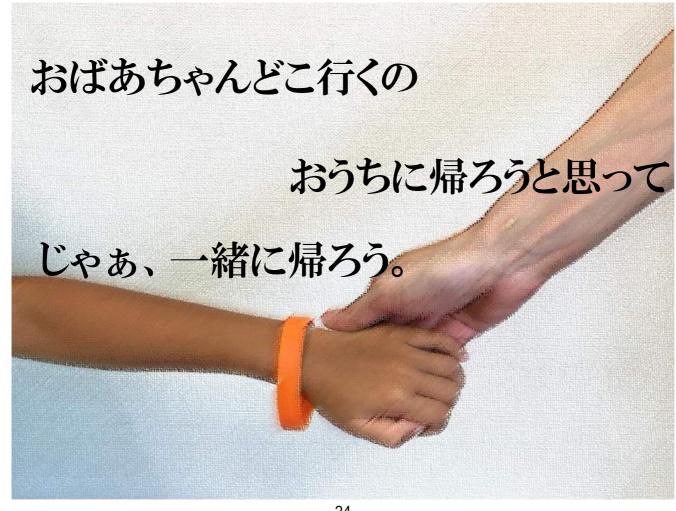
事業所A

地 域



**※** リハビリ





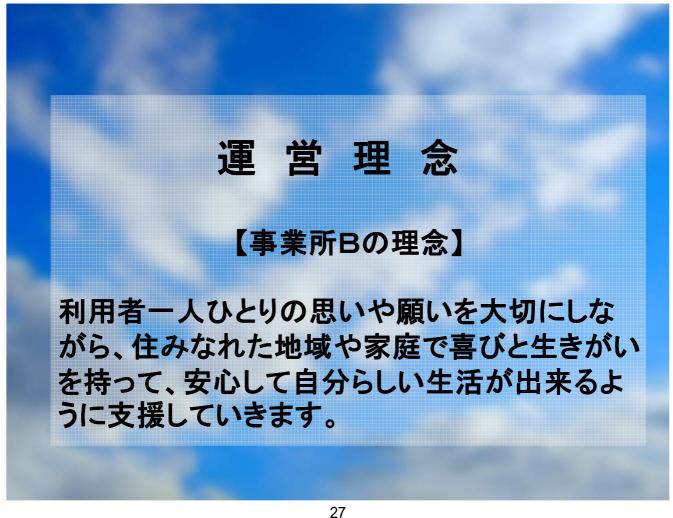








事業所B 運営理念 1. 分校地区の特性・整備予定地 3. 地域の声やニーズ・事業所の支援 4. 独自に行う取り組み



### 【運 営 方 針】

- ・ 利用者の持つ力、「できる」喜びや楽しみを大切にします。
- 一人ひとりの気持ちに寄り添い利用者のペースに 合わせます。
- ・「暮らしやすい地域」について、ともに考えます。
- これまでの暮らしや関係の継続を大切にし、地域の中で開かれた事業所、地域の人が気軽に交流できる場をつくります。

1. 事業所B 運営理念

- 2. 分校地区の特性・整備予定地
- 3. 地域の声やニーズ・事業所の支援
- 4. 独自に行う取り組み

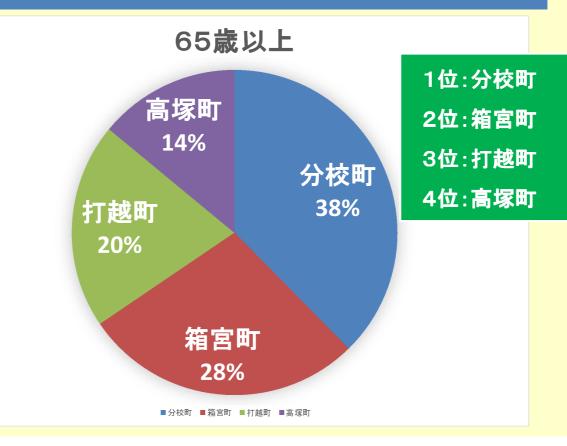






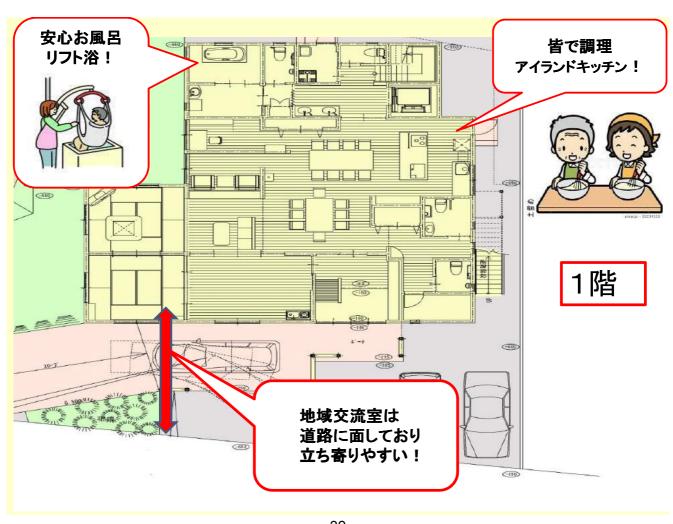


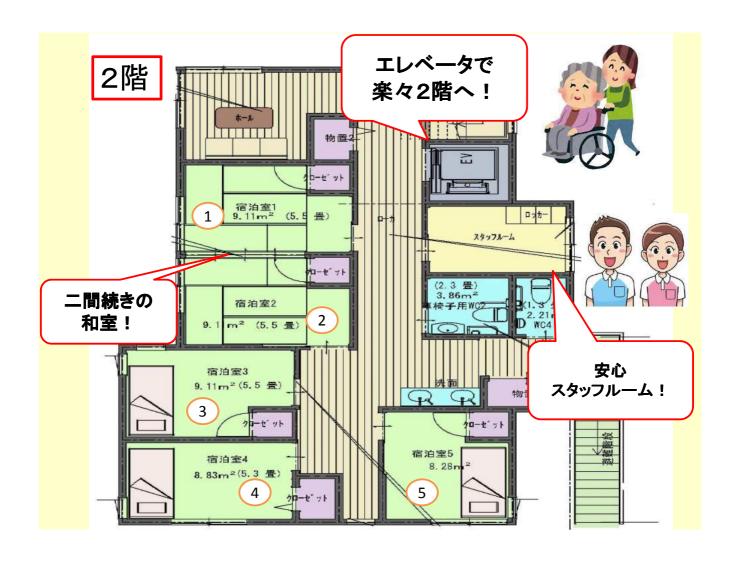
## (分校地区高齢者の割合)













# 介護

地域の声やニーズ

認知症のお年 寄りが多い 近くに介護の 事業所が少ない

高齢者が 多い



施設に入り たくない

施設に入らずに、これからも 自宅で暮らしていきたい...

# 介護

### 私たちの取り組み

事業所C 事業所D

これまでの実績!



リハ専門職との連携



医療との連携

<u>→介護度が重度の方でも安心して在宅生活</u> を続けることができます!!

### 認知症

#### 地域の声やニーズ

### 順位 介護認定理由

### 1位 認知症

2位 運動器疾患

3位 脳血管障害

認知症高齢者率

分校地区 9.2%

加賀市 8.1%



## 認知症になっても住み慣れた 地域で暮らしたい...

### 認知症

### 私たちの取り組み



32 190

キャラバンメイト数



サポーター養成講座



相談機能

→地域で見守り体制をつくり 住み慣れた地域で生活できます!



### 介護 ロコモ 予防

地域サロンの 世話役の負担 が多きい

介護予防の 取り組みが 少ない

### 地域の声やニーズ

二次予防対象者数

分校地区 37.1%

加賀市 34.6%



健康を維持して、住み慣れた地域で 暮らしたい...

### 介護 ロコモ 予防

<u>ロコモ予防!</u> 地域のおたっしゃ サークル等



#### 私たちの取り組み



PT **DJ**モ予防



OT 転倒予防



ST 肺炎予防



栄養士 栄養指導

→健康が維持でき、 いつまでも住み慣れた地域で 暮らすことができます!! 生活支援 地域交流

### 地域の声やニーズ

高齢者が 閉じこもり 気味

活躍する場所がほしい

見守り体制が 不十分



身近に相談で きる場所が ない

楽しく生きがいを持った生活をしたい...

生活支援 地域交流

### 私たちの取り組み







<u>楽しく生きがいを持った生活を</u> おくることが出来ます!!















